

(様式3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム鶴の家柏崎西

作成日:2023年 1月 16日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者は日々の食材の買い物をはじめ、近所の公園や神社への散歩に出かけているが、コロナ渦で行事がほとんどなくなり地域との交流は難しい状況である。今後は、地域の行事等に職員が出向き、地域の一員としての役割を担うなど、地域の方々との関係を築いていく取り組みに期待したい。	地域行事等は出来る限り参加する	町内会の広報物等に地域での参加行事があった際は、入居者様と参加できるものは参加し地域の方々との関係を築いていく。	3ヶ月
2	3	運営推進会議は事業所の運営や利用者へのサービス向上について話し合ったり、意見等をもらう機会である。コロナ渦により書面でのみの開催で、これまでに意見や質問等は寄せられていない。また、事故報告書の資料はわかりにくい内容でもあったため、今後は誰が見ても分かりやすい資料作りの工夫が望まれる。また、一方的な報告にとどまらず、意見等を記述してもらえるような工夫をしていく取り組みにも期待したい。	運営推進会議資料、事故報告資料の変更	運営推進会議資料は、意見等を記載できるように様式を変更する。 事故報告書は見やすいように様式の変更を行う。	3ヶ月
3	5	担当制の研修では職員の学びの機会となり参加職員は研修後報告書を提出している。研修資料が残されていない為記録の整備が望まれる。また、日中玄関は外部の侵入者による安全目的で施錠されていることも多く、利用者の自由な暮らしを支援する方針で、今一度全職員で施錠について確認し合う取り組みを期待したい。	研修資料は、報告書と同じファイルに保存する 玄関の施錠について検討する	施錠について今一度職員間で話し合い、施錠の必要性や入居者様の自由な暮らしを支援する方針で施錠が必要でない日中等は施錠しない取り組みを行う。	6ヶ月
4	9	本人の思いは日々の関わりの中で聞き取って支援しているが、特記事項への記載以外に記録の様式は定められていない状況であった。利用者の望む暮らしを検討する際に、誰もが活用できるような様式を取り入れるなど、記録方法の検討を期待したい。	本人の思いを記載する記録様式の作成	職員間で再度話し合いどのような記録の様式が、本人様との会話等の中からすぐに記載できるか、検討し様式を作成	3ヶ月
5					ヶ月